

令和6年度「収穫体験に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

横浜市は農業も盛んで、農地面積は県内1位です。収穫体験ができる農園も数多く開園していますが、Q1で横浜市内で収穫体験をしたことがある方は27.8%だったことから、経験のある方はまだ多くない現状であることがわかりました。

また、Q10で「農園情報やイベント情報を見つけにくい」という回答が29.1%と最も多く、情報が行き届いていない状況であることがわかりました。

今後は、アンケートの結果をふまえ、収穫体験に関する情報をより多くの方に提供できるように広報よこはまのほか、様々な媒体を活用し、更なる広報を行っていきます。

現在の情報発信の一例としては、横浜市のホームページやX(アカウント@yokohama_kankyo)、Instagram(アカウント@yokohama_farm_official)でのご案内がありますので、お時間のある時にご覧ください。

【参考】横浜で農業・農体験「ふれる・親しむ」(横浜市 web ページ)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/nochi/noutaiken/>

2 アンケートを実施した感想

収穫体験についてニーズが多く、体験の場が不足していることのほか、アクセス性の向上や情報発信を強化する必要性を感じました。収穫体験が食育に繋がる大切な経験であることなど、市民の皆様が日頃から考えていらっしゃる様々なご意見を記述いただき、結果の数値からだけでは得られない貴重な情報をたくさんいただくことができました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、収穫体験に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。

貴重なご回答や皆様の思い、自由意見を多数いただき、大変参考になりました。

本アンケートの結果を踏まえ、今後も、市民の皆様がより身近なところで収穫体験を楽しめるように、引き続き事業を推進していきます。

担当：みどり環境局農業振興課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。